

3月3日(火)

機 会

聖書朗読 コリント人への手紙第一 9:22～27

実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。

エペソ 5:11

イエス様は、私たちは世の光として輝くようにと言われました。光は暗闇の中で最もよく輝きます。イエス様は、肉体的、霊的に助けを必要としている人々の元に向かわれました。私には、ホームレスの人たちに食事を提供したり、刑務所に収監されている人たちと聖書を学んだりしている友だちがいます。そのような奉仕は、あまり心地の良いものでなかったり、時には怖い思いをするかもしれません。しかし、私はその友人たちの勇気や、暗闇の中で光を輝かそうとするその姿勢を心から尊敬しています。

今日の聖書箇所で、パウロは『すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。』と語っています。しかし同時に彼はまた、私たち自身が罪に巻き込まれてしまわないよう気をつけるようにと注意喚起しています。それは、傷ついている人々と関わりながらも、キリストを土台として生きるという、バランスの問題です。

私の娘は昔から見知らぬ人に話しかけるのを恐れない子でした。この賜物のお陰で彼女は他の人々がなかなか近づけない人々に手を差し伸べることができます。人々は彼女の親切心に心を開き、しばしば御言葉について質問してくれます。誰かをイエス様へと導く、何という素晴らしい機会でしょうか。

スーパーやバスの中ですれ違う人々のことを考えてみてください。もしかすると、傷ついたり、孤独だったり、ただ単に優しい言葉を必要としていたりする人々かもしれません。今日、私たちの言葉と行いがキリストの光を映し出すものとなるように祈りましょう。主の愛と力は今もなお最も暗い場所にまで届くのです。

讃美歌 447 勇さめや はらから

祈り 天のお父様、救いという素晴らしい賜物をありがとうございます。私たちがあなたの愛を迷える人々と分かち合う機会を見出し捕らえることができますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ノース・カロライナ州 ローリー / キャロライン・イエイツ

3月4日(水)

私に何ができるでしょうか

聖書朗読 コリント人への手紙第二 1:3～5

神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができます。
Ⅱコリント 1:4

アビーと同年代の他の子どもたちが学校生活やお泊まり会の心配をしている一方で、アビーは治療や入院に直面し、不安に立ち向かっていました。彼女には考える時間があり過ぎて、自分に何が起きているのかとか、これから何が起ころのかとか心配せずにはいられませんでした。そして彼女の立場だったら誰でもそうなるように、彼女も時に恐れを感じていました。

「神様、どうしてですか。なぜ私が」と疑問に思うのも無理のないことです。このような問いはとても人間的なものであり、詩篇を通じて繰り返されています。

神様は私たちの“なぜ”に答えて説明してはくださらないかもしれませんが、私たちに召されるという形で答えてくださるかもしれません。

アビーはいつまでも怖がってはいませんでした。彼女は目的を見出したのです。彼女は、治療を受けている病院で、他の子どもたちの為に、柔らかくてカラフルな点滴ポート*カバーを縫い始めました。(*編注:抗がん剤や高カロリー輸液などを投与するため皮下に埋め込む小型医療機器)一つの小さな行動として始まったことは、やがて使命になりました。今では彼女はたくさんの保護カバーを丹精込めて手作りし分け与えています。彼女の不安は行動へと変えられ、惜しめない愛へと姿を変えました。

アビーの物語は私に問いかけます。自分の不安な心に目を向け「なぜ」と問いたくなる時、私は彼女の働く手を思い出します。そして、できたら、もっと良い問いをしようと思います。「私には何ができるだろうか」と。それは痛みを否定することではなくて、不安を行動へと変えることです。神様の恵みによって、私たちの不安な心は変えられ、私たちは神様の光を映し出すことができます。

讃美歌 399 なやむものよ とく立ちて

祈り 神様、どうか私の痛みがあなたの目的の為に用いられることを思い起こさせてください。今日、私が仕えるべき誰かを示してください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / エイミー・キャリー

3月5日(木)

良薬

聖書朗読 コリント人への手紙第二 4:13~18

陽気な心は健康を良くし、陰気な心は骨を枯らす。

箴言 17:22

昨年の春のある日、夫が郵便物を取りに外に出て戻ってこないことに気づき、私は彼を探しに外に出ました。ようやく見つけたのはガレージで、車の下を覗き込んでいるように見えました。とにかく、そう見えたのです。実際には、夫は転倒し腰の骨を折っていたのです。夫は私が彼を見つけるまでの間、本当に車の下での点検をしていたのです。いわば、マルチタスク*をしていたということになるかもしれませんね。(*編注:2つ以上の業務や作業を同時並行、または短時間で切り替えながら進める手法)

夫は手術を受け、骨を固定する為に腰に2本の医療用のチタン製ロッドを入れることになりました。その後、彼は回復する為に、リハビリ施設で何週間も過ごしました。しかし、その試練の間、彼は明るい態度を持ち続け、それが回復に大変な違いをもたらしました。

彼の喜びに溢れた精神は彼にとって良いだけではなく、彼を取り巻く周りの人々をも元気にしました。グラス半分の水を見て、「半分しかない」ではなく、「まだ半分ある」と楽観的に考える人と共に生きることは何という祝福でしょう！

あなたは悪いことばかり考えがちであっても、今日、良いものや素敵なものに心を留めようと心がけてみましょう。キリストの愛によってあなたの心を喜びで満たしましょう。それは、あなたの周りにいるすべての人にとって良薬となるでしょう。

聖歌 604 のぞみも消えゆくまでに

祈り 聖なる父よ、あなたの知恵とご栄光の素晴らしさは言葉にならないほどです。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ノース・キャロライナ州 ローリー / キャロライン・イエイツ



3月6日(金)

神様に近づく

聖書朗読 エペソ人への手紙 3:10~17

私たちはこのキリストにあり、キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができるのです。
エペソ 3:12

イエス様が神様に近づく扉を開けて、私たちに入るように招いてくださっているとは何と素晴らしいことでしょう。何の制約もなく、ただ招かれているのです。私たちはありのままに行けばよいのです。神様はすでに私たちのことを完全にご存じなのですから。

私たちは確信をもって神様に近づき、心の奥底の思いや心配、喜び、希望、夢などを言い表してもよいのです。神様を賛美し、ほめたたえることができるのです。何よりも、私たちは御父の御前にあって、神様の答えを聞くことができます。

これらすべてのことができるのは、キリストにあって、キリストを信じる信仰によって神様と新しい関係を結ぶことができたからです。神様がなぜ私たちと関係を持ちたいと思われるのかは私たちにとってミステリーとさえ思えるかもしれません。しかし、旧約聖書を通じて、神様はご自分が造られた民と関わろうと求めてこられました。神様がご自分のみこころによって私たちとの関係を求めておられたのです。それは今も変わりません。

エペソ 3:12を読むと、私たちは神様のお許しを得て、大胆に神様に近づき、お交わりできることがわかります。今日、神様とお交わりを喜びましょう。

讚美歌 271 いさおなき我を

祈り 神様、あなたの御前に近づくとき、私の祈りをお聞きください。賛美を受け入れ、願いに答え、罪をお赦してください。私を造り変えて、私の人生がいつもあなたへの愛を映しているようにしてください。御子イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ノースカロライナ州 ダーラム / ケイ・ワトソン

3月7日(土)

親切の力

聖書朗読 エペソ人への手紙 4:17~32

人の望むものは、人の変わらぬ愛である。貧しい人は、まやかしを言う者にまさる。

箴言 19:22

親切は科学者の実験室では作れません。国の武器庫に貯蔵されてもいません。多大な影響力を持つこの力は、厳しい試練を経た人間の心のうちに見出され、形成されます。子どもからシニアまで、どんな年代の人でも親切な心を持ち、発達させたいと望み、行動に移すことができます。

一度親切に触れたら、その親切は生涯、人の心を育むものです。多くの場合、親切な行いや言葉に必要なものは、ただ、すすんで時間や思いやりをかけるだけです。ふとした瞬間になされる、ちょっとした言動が親切な行いであることが多いのです。親切を分かち合う機会は長続きしません。即、行動することが肝心です。

誰かがしてくれた親切にどんなに感動したか考えてみてください。あなたも周りの誰かに同じようにしませんか。

主よ、私たちがあなたの平和の道具にしてください
憎しみがあるところに、あなたの愛を増してください
私たちがあなたの平和の道具となるとき
傲慢と偏見の壁は消えるでしょう

—アッジジのフランチェスコ*の祈りより

*訳注:イタリア・アッジジ出身のカトリック修道士で「フランシスコ会」の創設者。

富を捨てて清貧、平和、自然を愛する生活を実践し、世界中から愛される聖人。

1181か1182-1226



讃美歌第二編 169 み神のみまえに

祈り 聖なる父よ、私たちがあなたの愛と親切を行う道具としてください。日々、私たちの心を開いて、隣人が必要とするものを満たすことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 モリソン / ボブ・チェントラッキオ

3月8日(日)

結納金

聖書朗読 エペソ人への手紙 5:25~33

また、最後の七つの災害の満ちているあの七つの鉢を持っていた七人の御使いのひとりが来た。彼は私に話して、こう言った。「ここに来なさい。私はあなたに、小羊の妻である花嫁を見せましょう。」
黙示録21:9

古代社会では夫になる者は許嫁いいなずけに対して結納金ゆいのうきんを贈らなければなりませんでした。結納金は、

妻になる者が結婚のために家を出た後、一緒にいたら後何年間、家族に仕えられたかに基づいて算定されました。夫が彼女を本当に妻に迎えたいと思うなら、規定額の結納金を払わなければなりませんでした。結納金が決定したら、夫は二人で住む部屋を用意するために家に帰ります。それから、万事準備が整ったら、妻をめとるために戻ってきます。

新約聖書はこの古代の慣習を使って、教会をキリストの花嫁として描いています。イエス様は花嫁たる教会をめとるために、ご自身の血潮でもって結納金を払っていただきました。イエス様が払ってくださった代価にふさわしく、この花嫁なる教会は聖く輝いています。キリストの献身的な愛と誠実なお約束にふさわしく、教会はキリストの再臨にいつも備えていなければなりません。イエス様は花嫁なる教会のために、計算できないほどの結納金を払ってくださったのです。

子どもの命を救うために両親が喜んで身代わりになるという話を聞いたことがあります。悲劇的であり、美しい話でもあります。イエス様はそれ以上のことをしてくださいました。教会をご自分のものにされ、ご自身の血潮によって新しい家族を作るために、イエス様は戻ってこられます。ハレルヤ!

讃美歌 191 いともとうとき 主はくだりて

祈り お父様、イエス様と花嫁なる教会を与えてくださいます。ありがとうございます。イエス様の家族の一員として誠実にお仕えできますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 オースチン / グローバー・シップ